

エントランス展示

# 福岡の 出版社

福岡に拠点を置く出版社の本を集めました。

令和2年5月19日（火）～7月30日（木）

福岡県立図書館1階エントランスホール

## 福岡の出版社を知るきっかけに\_\_\_\_\_

最近、福岡の書店に足を運ぶと、ご当地グルメや福岡の歴史を紹介した本が店頭に並んでいるのを目にします。これらの本の出版社に注目してみると、福岡に拠点を置く出版社で刊行されたものが多く、福岡の出版活動の " 元気よさ " を感じることができます。

昭和 40 年代、創言社、葦書房、梓書院、西日本新聞出版部など、福岡の出版社が本格的に始動しました。出版活動は関東圏中心だと思われがちですが、福岡から話題の本が出版され注目されるたびに、出版活動を賑わすのに必要な要素は場所ではなく、主体となる出版社が傾ける本づくりへの情熱であることがうかがえます。

## 出版は文化のバロメーター\_\_\_\_\_

平成 18 年には " 福岡を本の街に " のキャッチフレーズのもと、地元出版社や書店経営者などが集まり、本のイベント「ブックオカ」の開催がスタートし、毎年続いています。

出版不況が叫ばれている今ですが、個性的な出版社が多様なジャンルの本を刊行し、歴史ある出版社との相乗効果で福岡の出版活動を盛り上げています。

今回の展示では福岡に拠点を置く出版社の本を集めました。この展示をきっかけに福岡の出版社を知っていただく機会となれば幸いです。

### <参考文献>

- ・「『本』を創る フクオカ出版物語 福岡市文学館企画展 2003」福岡市総合図書館文学・文書課文学係／編集 福岡市総合図書館文学・文書課文学係 2003 年
- ・「ローカルブックストアである 福岡ブックスクェア」大井実／著 晶文社 2017 年
- ・「新修福岡市史 特別編[4] 活字メディアの時代」福岡市史編集委員会／編集 福岡市 2017 年